

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	大腸癌高度リンパ節転移病変における新規腫瘍免疫抑制因子の同定			
2. 対象患者	当院で手術を行った大腸癌患者さん			
3. 対象となる期間	2016年 1月 1日 ~ 2019年 3月 31日			
4. 実施診療科等	消化器外科			
5. 研究責任者	氏名	三浦 卓也	所属	消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	手術治療だけでは治りにくい大腸癌に対しては、手術後に抗がん剤治療を組み合わせ、治癒を目指しています。しかしながら、たくさんのリンパ節転移が見つかった患者さんには、抗がん剤の効果が少ないことが多く、再発し治癒が期待できなくなります。そこで新しい治療法の開発が望まれています。			
8. 研究の目的	たくさんのリンパ節転移がみられた患者さんのリンパ節転移部と、リンパ節転移がみあたらない患者さんのリンパ節を詳細に比べて、違いを明らかにし、新しい治療標的を見出すことが目的です。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	当院で手術を行い、診断目的に作成された大腸癌組織で院内に保存されている試料を用います。リンパ節転移部と転移のみられないリンパ節を詳細に分析比較し、差の見られたものを明らかにして、新しい治療対象となる物質を見出します。また、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの情報、画像検査、大腸癌の病理検査、術式、合併症などの手術関連情報、病理組織所見、再発などの術後情報を利用して、その物質の意義を検討します。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にあります。これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 三浦 卓也			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080